



8月の野菜研

あおもりの未来
技術でサポート

令和元年8月30日
地方独立行政法人青森県産業技術センター 野菜研究所

8月に研究所内で行った行事、作業等について簡単に紹介します。

ナガイモ追肥作業

8月5日にナガイモ圃場で、追肥作業をしている様子です(下写真)。

5月27日に1年子ナガイモを植え付けし、今回は2回目の追肥作業になります。圃場は、品種開発部の新品種育成に向けた選抜圃場です。現在一般農家で栽培されている系統「園試系6」等より、多収で、品質が優れる新品種の育成を目指し、暑い中追肥作業を行いました。



ニンニクの調査

6、7月に収穫したニンニクは、約1か月ほどかけ乾燥させてから調査が始まります。

下の写真は、イモグサレセンチュウの被害状況の調査のため30日間自然乾燥したもので、ニンニク球の皮をむき、りん片1個ずつに分解しました。被害は、りん片の下部から見られるので、このように並べています。



研修会等



8月2日に、県農産園芸課主催で、「第2回ながいも栽培技術研修会」が当所内で開催されました(上写真)。参加者は50名で、市町村、JA、農業普及振興室等の指導員の方々が出席しました。研修会では、これまでの生育及び病害虫発生状況、今後の栽培管理のポイントについて説明されました。また、所内で行っている試験の状況を圃場で説明しました。

8月20～22日の3日間、上北郡七戸町立七戸中学校の生徒1名が「職場体験学習」で、当所に来ました(右写真)。ナガイモの生育調査、ダイコンの病害虫調査等の補助として、作業を手伝っていただきました。調査データの記帳の時には、中学生は間違い等がないよう研究員が話すことをしっかり聞き、野帳に記入していました。



(左: 研究員、右: 中学生)



8月27、28日に、県農産園芸課主催で、ナガイモ産地の次世代の担い手が高度な栽培技術を習得するための「ながいもプロフェッショナル養成所」が開催されました。当所からは講師として4名参加しました。講演は、27日が当所、28日は七戸町ふれあいセンターで行われました。

連絡先: 野菜研究所

Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934

Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp